

- ・平成29年9月22日に（一社）建設コンサルタンツ協会の会員54名が、浅間山火山噴火緊急減災対策事業について、砂防現地見学に見えられました。
- ・見学目的は、火山活動に伴う自然災害に備えて、ハード・ソフトの対策を組合せた火山砂防計画の実際を学ぶことは砂防技術者にとって大変有意義なことであり、技術力向上が期待できること。火山ならではの砂防構造物の施工現場を確認することで、柔軟な発想・アイデアを吸収する事ができることから、今年度は当事務所浅間山火山砂防事業エリアを候補地として現地見学会を行ったものです。



濁沢第二砂防堰堤工事現場



片蓋川第二砂防堰堤工事現場

また、協会で初めての試みとして、現場見学後に座学（計画・設計の講師からの説明後、意見交換）を実施しました。

- ・現場見学では事業概要（浅間山の歴史、事業計画、事業内容）、濁沢第二砂防堰堤工事及び片蓋川第二砂防堰堤において砂防ソイルセメントの施工状況、コンクリートブロックを備蓄している砂塚ストックヤードで備蓄状況の説明を行いました。



建設コンサルタンツ協会の記念撮影

現場見学後、長野原町立浅間園において、座学（計画・設計）を実施。講師からの説明後に意見交換を行いました。

意見交換会の感想

- 見学の感想・現地見学後、座学で復習、意見交換会でさらに理解を深められる構成が良かった。
- 現場を見てからの座学の流れは、対策のイメージがわきやすく良かったと思います。
- 意見交換会が特に良かった。複数の先生を囲み、もっと小数で話せると尚良い。

現場見学の感想

- 火山砂防の工事現場を見たことがなかったので勉強になった。
- 事業者の方と、専門の講師の方が丁寧に説明くださり、よくわかりました。
- 説明が分かりやすく、資料の出来も良かった。



講師による計画・施工の説明状況